

平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
河合町	河合町立河合第三小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

地域が有する教育力を様々な教育活動に活用することにより学校・児童と地域社会及び関係各機関との信頼関係をより深いものとする。そして地域ボランティアの方々が子どもと関わることで自分の生き方を問い直し、これからの地域づくりの在り方を創造する一員となる機会にする。

2 特徴的な取組の概要

本校学校支援ボランティア、コーディネーターの方が中心になり、月に一度その月の「環境整備作業計画の詳細」というプリントを作成され、他の支援ボランティアの方々に対して学校備品の作成や樹木の剪定、農園の整備協力を要請されています。校内に設置してある「ボランティア室」を拠点に多方面に向けて迅速な活動が図られている。

学童の見守りボランティアの方々には、学校よりその月の児童の下校時刻をプリントでお知らせし、協力を求めている。また PTA 地区委員ともタイアップし、登下校時の見守りの充実を図っている。

図書ボランティアによる週一度（水曜日）の「読み聞かせ」や図書室整備（金曜日）の計画、学習支援ボランティアによる学校学年行事については、学校の担当教員が代表の方と定期的に綿密な打ち合わせをもち立案している。

合同農園でのえんどうやさつまいも、ひょうたん、さとうきび栽培、学級農園の整備には畑の耕しから土づくり、肥料の世話、アーチ支柱設置、そして草抜き等々と本来学校が行わねばならないことまでお世話していただいた。

1年生の学年行事である「昔遊び」ではその懐かしい遊び方をご指導していただき、3年生では校区内探検の引率、6年生の「おもてなし集会」においては小学校6ヶ年間の思い出や回想を感謝の気持ちと共に地域の方々に伝え、とても楽しい時間を過ごすことができた。

教科を超えた様々な『学びと喜び』をボランティアの方々からご指導していただき、学習意欲を向上させ、コミュニケーション力を高め、豊かな社会の実現に向けた児童の育成と成長にたいへん成果があった。また、図書室の環境整備が進み、児童と地域の方々がふれあえる場や時間ができたのもこの取り組みの成果である。

校内作業所



ボランティア室

おもてなし集会

